

校内授業研究会

《英語活動・理科》

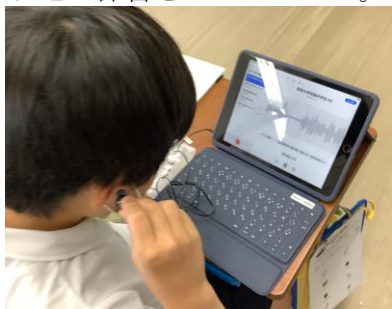
6月9日（水）に英語活動と理科の校内授業研究会が行われました。

授業後は、研究グループでそれぞれの授業のICT活用による学びの「しやすさ」について意見交換をしました。また効果的なアプリの使い方などの情報交換をすることで、先生方の操作スキルが日に日に高まっていることを感じます。

《英語活動》

英語活動では、コミュニケーション能力の育成をテーマに研究を進めています。簡単な表現や、身近な単語を用いて、できるだけ多くの人とやりとりを繰り返し練習することで、表現に慣れ親しみながらコミュニケーション活動を楽しむことを目指しています。

この日は2年生の学習で、まず子供たちは、タブレットを使って、発音練習を行いました。いろいろな野菜の言い方、好きな野菜を尋ねる言い方、答え方の中から練習したいものを選び、ALTの手本を聴いて、後に続いて発音し、自分のペースで何度も繰り返し練習をしていました。



そのあとに、ボイスメモを使って自分の声を録音して、聴いて発音を確認してみました。聴き直してみることで、「上手く言えている。」「もう一回言ってみよう。」など、自信や意欲につながっている様子が見られました。

コミュニケーション活動の場面では、

「What vegetables do you like?」「I like～。」の表現を使って、友達に尋ねたり答えたりしました。その様子を動画に撮り、紹介することで、友達の上手なところに気付い



たり、真似してみようという姿が見られたりしました。

今後も相手を意識したコミュニケーションを楽しく行えることを考えながら研究を進めていきたいと思います。

《理科》

5年生の理科の学習では、ヒトのたんじょう（受精卵の育ち）をメダカの卵の育ちと比較しながらグループでJamboardにまとめました。



調べていく中で、どのようにまとめれば伝わりやすいかを話し合いながらまとめている様子がみられました。どの資料をどのように配置するのか、どんなコメントを入れるのかしっかり話し合うことができていました。

授業では、ヒトの受精卵の育ちについて、メダカと比べながら、強調したいイラストや写真を拡大したり画面を切り替えたりして発表しました。これまでの模造紙やホワイトボードにまとめる活動と違い、写真をすぐに載せられたり文字の訂正や修正をすぐできたりするなど、タブレットを使うことによって効率よくまとめ発表できました。